

1/23,24

広島県で島の魅力発信

島根ふるさとフェア2016

1月23日(土)・24日(日)の2日間、広島総合体育館にて第19回「島根ふるさとフェア2016」が開催されました。このイベントは、毎年1月に広島・島根県両県により一層の交流促進を図ることを目的として開催されているものです。

今年は「隠岐ユネスコ世界ジオパーク認定」などもあり、隠岐を知っていただくには良い機会となりました。西ノ島町からも、特産品販売出店や市町村なんでも情報コーナーで西ノ島のPR・情報発信を行いました。このイベントを通して、多くの方に隠岐・西ノ島のことを知っていただき観光地・定住先としての魅力を伝えることが出来ました。



1/30

高崎経済大学教授 久宗周二氏講演会

観光活性化講演会

1月30日(土)、西ノ島町中央公民館にて観光活性化講演会が開催されました。講師に、久宗周二氏をお招きし、「観光による西ノ島町の活性化」シーズンオフの対策を中心に」と題してご講演をいただきました。

当日は、地元観光関係者を中心に約40名の聴講をいただきました。

実際に久宗氏が携わられた津軽鉄道ストロブ列車の指定券化等を通じた活性化事業のほか全国各地の地域活性化の事例紹介や西ノ島でのシーズンオフの具体的な対策案の提示をいただくなど盛りだくさんの内容でした。

最後に久宗氏は「西ノ島の資源を活かして、お金をかけずに出来ることをやっていきましょう。」と講演を締めくくられました。

先生の日常生活における人間行動観察やまちづくり委員としての経験なども織り交ぜた分かり易い講演で、参加者が一緒になって考える良い機会となりました。



2/1 ~ 2/7

お気に入りの一冊に出会える場所

ほんのてらんかい4

2月1日(月)から2月7日(日)まで、西ノ島町観光交流センター1階のフリーカフェにて「ほんのてらんかい4」が開催されました。

これは西ノ島の芸術交流事業の一環として、隠岐アートトライアル実行委員会が行っているイベントのひとつです。

「好きな本・大切な本」をテーマに、住民や島外の方から1人1冊で推薦本を募集し、昨年までの本と合わせて320冊が添えられたコメントと併せて展示されました。

期間中は子どもから大人まで258名の方が来場され、みなさん思い思いの本を手にとり、ゆったりとした時間を楽しみました。設置した大きなコタツを囲みながら、「本」を通じて交流を深める姿が印象的でした。



2/5

おもてなし力を高めよう

外国人観光客おもてなしセミナー

2月5日（金）に別府のコンセーユで「外国人、来たらどげすらいいだ？」というおもてなしセミナーを開催しました。

当日は、観光協会のニコラが講師を務め、約30名の観光関係者（飲食店、宿泊施設、運転手など）がクイズ、ゲーム、ロールプレイ（会話の練習）等を通して、観光客も島民もハッピーになるための英語でのコツを楽しく学びました。

翌週には、隠岐の島町、海士町、知夫村で同じセミナーが開催されました。隠岐4島では、島内観光関係者を中心に連携し、今後さらに増加が見込まれる外国人観光客の受け入れ態勢作りを推進して参ります。町民のみならず、宜しくお願ひします！



友情を深め再会を誓い合いました

1/26 ~ 28

第37回江府町・西ノ島町児童交歓スキー教室

1月26日（火）から28日（木）の2日間、昭和54年から姉妹町盟約を結んでいる鳥取県江府町（鏡ヶ成スキー場・奥大山スキー場）を訪れ、両町の小学校5年生（西ノ島町15名・江府町23名）の児童が交流しました。今年は直前まで雪の量が心配されましたが、1mを超える雪がみんなを迎えてくれました。

初日の児童交流では、初対面で緊張した様子でしたが、すぐに慣れ、お菓子交換や会話が始まりました。

西ノ島町の児童は、スキー初体験者がほとんどでしたが、インストラクターの指導や江府町児童の手助けにより、全員が滑ることができ「やればできる！」と自信をもったようです。

最終日も滑りたりないと声が出るほど熱中し時間いっぱいまで体験しました。最後の見送りでは、夏の隠岐での再会を誓い合い、最後まで手を振って名残惜しい別れとなりました。

教育課



一生懸命教えてくれました



手作りリカー夜干土産に



特訓中



滑れるようになった



烏ヶ山と宿舎をバックに集合写真

江府町ホームページに詳しい様子が掲載されています。 <http://www.town-kofu.jp/>